

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月28日

上場会社名 四国化成工業株式会社  
 コード番号 4099 URL <http://www.shikoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O. (氏名) 山下 矩仁彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管理担当 (氏名) 富田 俊彦  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 0877-22-4111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	31,303	—	3,541	—	3,513	—	2,014	—
20年3月期第3四半期	33,073	7.1	4,499	7.7	4,499	7.5	2,667	8.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	34.41	—
20年3月期第3四半期	45.43	45.42

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第3四半期	54,503	—	31,711	—	57.8	538.38
20年3月期	57,041	—	31,343	—	54.6	532.45

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 31,510百万円 20年3月期 31,167百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△6.1	4,050	△27.9	4,000	△20.5	2,250	△23.0	38.44

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	58,948,063株	20年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	420,032株	20年3月期	412,725株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	58,529,653株	20年3月期第3四半期	58,733,154株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページをご参照下さい。

(参考) 21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	38,500	△6.6	3,500	△25.2	3,500	△15.0	2,000	△17.3	34.17

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成20年5月15日に公表しました通期の個別業績予想を本資料において修正しております。
- ・上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページをご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

【前年同四半期増減率は参考として記載しています。】

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)の当社グループを取り巻く経済環境は、上半期における資源価格の高騰に加え、米国発の金融危機に端を発した世界的な景気の減速や円高の急進により、一層厳しさを増しました。

このような状況下、当社グループの業績は、販売価格の是正や費用の削減による収益力の強化に努めましたものの、電子材料分野での市場の冷え込みによりファインケミカルの販売が減少したほか、原材料価格の上昇や為替変動の影響を受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は313億3百万円(前年同期比5.4%の減収)、営業利益は35億41百万円(前年同期比21.3%の減益)、経常利益は35億13百万円(前年同期比21.9%の減益)、四半期純利益は20億14百万円(前年同期比24.5%の減益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①化学品事業

(無機化成品)

レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素や、ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄の販売が国内外ともに順調でありました。無水芒硝は販売シェアの拡大と採算性の改善に努めました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、海外において米国市場が好調に推移しましたが、円高の影響を大きく受けました。また、耐熱電線ワニス向けのセイクは収益体質の改善に努め、排水処理剤であるハイボルカは市場開拓に注力しました。

(ファインケミカル)

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、世界的な景気減速に伴う電機業界停滞の影響や円高の影響を受け、当第3四半期の期末にかけて輸出を中心に販売が低迷しました。また、エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類も同様の影響を受け、国内外ともに販売が停滞しました。

以上の結果、売上高は188億17百万円(前年同期比6.4%の減収)、営業利益は38億64百万円(前年同期比20.6%の減益)となりました。

## ②建材事業

(壁材)

景気減速により住宅市場が停滞する中、高付加価値製品の拡販に努めましたが、内装分野を中心に販売が伸び悩みました。

(エクステリア)

景気減速による市場の冷え込みにより、住宅分野、景観分野ともに販売が伸び悩みました。また、原材料価格上昇の影響を受けましたが、販売価格の是正による収益性向上に努めました。

以上の結果、売上高は117億63百万円(前年同期比4.1%の減収)、営業利益は7億92百万円(前年同期比5.3%の増益)となりました。

## ③その他の事業

その他の事業は、フード事業の販売が伸び悩みましたが、情報システム事業における販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は7億21百万円(前年同期比2.7%の増収)、営業利益は70百万円(前年同期比11.3%の増益)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比25億37百万円減少し、545億3百万円となりました。当座資産を圧縮したことや投資有価証券の時価が下落したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末比29億4百万円減少し、227億92百万円となりました。主に長期借入金の返済によるものです。

純資産は前連結会計年度末比3億67百万円増加し、317億11百万円となりました。主に四半期純利益の計上によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末の54.6%から57.8%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、42億68百万円（前年同期比16億25百万円の増加）となりました。主な増加項目は、税金等調整前四半期純利益33億67百万円、減価償却費13億14百万円、売上債権の減少17億70百万円、一方で主な減少項目は、法人税等の支払16億48百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、25億24百万円（前年同期比15億64百万円の増加）となりました。主なものとしては、設備投資など有形固定資産の取得による支出14億53百万円のほか、定期預金の増加5億98百万円がありました。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、26億57百万円（前年同期比14億円の増加）となりました。主として、長期借入金の純減少額であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、41億39百万円（前連結会計年度末比9億71百万円の減少）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、金融危機の影響が实体经济に波及し、電子・電機業界、自動車業界等を中心に幅広い業界で世界的な市場環境の悪化が進行しており、直近においてファインケミカルをはじめとする当社各事業への影響も出はじめております。

市況の悪化を乗り越えるために、最大限の経営努力を継続しておりますが、11月以降の市況の落ち込みは急激であることから、通期の業績予想を以下のように修正しております。

## 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年10月28日公表)	百万円 43,300	百万円 4,650	百万円 4,800	百万円 2,800	円 銭 47.84
今回発表予想(B)	41,000	4,050	4,000	2,250	38.44
増減額(B-A)	△2,300	△600	△800	△550	—
増減率(%)	△5.3%	△12.9%	△16.7%	△19.6%	—
(参考)前期実績 (平成20年3月期)	43,686	5,620	5,032	2,923	49.82

## (参考)

## 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月15日公表)	百万円 41,500	百万円 4,300	百万円 4,300	百万円 2,450	円 銭 41.86
今回発表予想(B)	38,500	3,500	3,500	2,000	34.17
増減額(B-A)	△3,000	△800	△800	△450	—
増減率(%)	△7.2%	△18.6%	△18.6%	△18.4%	—
(参考)前期実績 (平成20年3月期)	41,227	4,678	4,120	2,419	41.23

(注) 業績予想の前提条件として、主要な為替レートは95円/米ドル、120円/ユーロとしております。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対

する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,061	5,543
受取手形及び売掛金	12,237	14,077
商品	640	557
製品	4,474	3,948
原材料	1,874	1,687
仕掛品	170	178
繰延税金資産	683	728
その他	306	361
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	25,432	27,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,101	5,172
機械装置及び運搬具（純額）	3,266	3,483
土地	8,641	8,564
建設仮勘定	129	39
その他（純額）	636	824
有形固定資産合計	17,774	18,083
無形固定資産	201	256
投資その他の資産		
投資有価証券	8,635	9,967
繰延税金資産	1,822	1,080
その他	637	587
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,095	11,635
固定資産合計	29,071	29,975
資産合計	54,503	57,041

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,030	7,965
短期借入金	3,625	2,400
1年内返済予定の長期借入金	657	5,701
未払法人税等	458	747
役員賞与引当金	34	45
その他	2,698	3,478
流動負債合計	15,504	20,337
固定負債		
長期借入金	2,529	720
再評価に係る繰延税金負債	1,855	1,855
退職給付引当金	2,453	2,326
役員退職慰労引当金	210	182
負ののれん	40	56
その他	198	217
固定負債合計	7,288	5,359
負債合計	22,792	25,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	17,044	15,619
自己株式	△255	△255
株主資本合計	29,398	27,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	292	1,330
繰延ヘッジ損益	26	0
土地再評価差額金	1,989	1,989
為替換算調整勘定	△197	△126
評価・換算差額等合計	2,111	3,193
新株予約権	28	11
少数株主持分	172	165
純資産合計	31,711	31,343
負債純資産合計	54,503	57,041

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	31,303
売上原価	19,854
売上総利益	11,449
販売費及び一般管理費	
運送費及び保管費	2,328
広告宣伝費	627
給料	1,413
役員賞与引当金繰入額	34
退職給付費用	164
役員退職慰労引当金繰入額	36
研究開発費	803
その他	2,499
販売費及び一般管理費合計	7,907
営業利益	3,541
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	272
雑収入	60
営業外収益合計	355
営業外費用	
支払利息	87
売上割引	78
為替差損	205
雑損失	11
営業外費用合計	383
経常利益	3,513
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	103
固定資産売却損	0
減損損失	14
投資有価証券評価損	28
特別損失合計	146
税金等調整前四半期純利益	3,367
法人税、住民税及び事業税	1,344
少数株主利益	8
四半期純利益	2,014

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	3,367
減価償却費	1,314
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	126
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	27
受取利息及び受取配当金	△294
支払利息	87
減損損失	14
有形固定資産除却損	103
投資有価証券評価損益 (△は益)	28
売上債権の増減額 (△は増加)	1,770
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△711
仕入債務の増減額 (△は減少)	254
その他	△381
小計	5,708
利息及び配当金の受取額	294
利息の支払額	△86
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,268
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,453
有形固定資産の売却による収入	3
有形固定資産の除却による支出	△49
投資有価証券の取得による支出	△418
定期預金の増減額 (△は増加)	△598
その他	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,524
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,225
長期借入れによる収入	2,550
長期借入金の返済による支出	△5,785
自己株式の取得による支出	△11
配当金の支払額	△585
その他	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△971
現金及び現金同等物の期首残高	5,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,139

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	化学品事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	18,817	11,763	721	31,303	—	31,303
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4	—	207	212	(212)	—
計	18,822	11,763	929	31,515	(212)	31,303
営業利益	3,864	792	70	4,727	(1,185)	3,541

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品等の名称

事業区分は事業目的において区分された項目別とし、その事業規模も勘案して下記の通り分類しております。

- ・化学品事業……無機化成品、有機化成品、ファインケミカルなどの化学工業薬品事業
- ・建材事業……内外装用化粧壁、エクステリア、アルミシャッターなどの建築土木資材事業
- ・その他の事業…情報システム事業などの顧客サービス事業

(会計処理の変更)

【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しておりますが、各セグメントの営業損益に与える影響は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	27,569	3,733	31,303	—	31,303
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,161	9	3,171	(3,171)	—
計	30,730	3,743	34,474	(3,171)	31,303
営業利益	3,338	187	3,525	15	3,541

(注) 1 国又は地域の区分の方法

地理的な近接度により区分しております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
北米：米国

(会計処理の変更)

【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しておりますが、各セグメントの営業損益に与える影響は軽微であります。

### 【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,064	3,739	724	8,528
II 連結売上高(百万円)				31,303
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.0	11.9	2.3	27.2

(注) 1 国又は地域の区分の方法

地理的な近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア：東アジア及び東南アジア諸国、北米：米国等、その他の地域：欧州等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
売 上 高	33,073
売 上 原 価	20,553
売 上 総 利 益	( 12,520)
販売費及び一般管理費	8,020
営 業 利 益	4,499
営 業 外 収 益	( 312)
受 取 利 息	43
受 取 配 当 金	211
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	10
雑 収 入	47
営 業 外 費 用	( 312)
支 払 利 息	82
手 形 売 却 損	9
売 上 割 引	83
為 替 差 損	125
雑 損 失	11
経 常 利 益	4,499
特 別 利 益	( 31)
固 定 資 産 売 却 益	0
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0
関 係 会 社 株 式 売 却 益	30
特 別 損 失	( 253)
固 定 資 産 除 却 損	54
固 定 資 産 売 却 損	8
減 損 損 失	14
過 年 度 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	175
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	4,277
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,556
法 人 税 等 調 整 額	41
少 数 株 主 利 益	11
四 半 期 純 利 益	2,667

## (2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,277
減価償却費	1,148
退職給付引当金の減少額	△ 30
役員退職慰労引当金の増加額	170
受取利息及び受取配当金	△ 255
支払利息	82
減損損失	14
有形固定資産除却損	54
有形固定資産売却益	△ 0
有形固定資産売却損	8
売上債権の増加額	△ 748
たな卸資産の減少額	175
仕入債務の増加額	456
未払金の減少額	△ 212
未払費用の減少額	△ 335
その他 (純額)	△ 60
小計	4,748
利息及び配当金の受取額	261
利息の支払額	△ 89
法人税等の支払額	△ 2,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	6
有形固定資産の取得による支出	△ 1,345
有形固定資産の売却による収入	6
有形固定資産の除却による支出	△ 17
投資有価証券の取得による支出	△ 458
貸付けによる支出	△ 1
貸付金の回収による収入	3
定期預金の純減少額	787
その他 (純額)	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 960
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入による収入	100
長期借入金の返済による支出	△ 608
リース債務の支払額	△ 71
自己株式の取得による支出	△ 227
ストックオプション行使に伴う自己株式売却による収入	49
配当金の支払額	△ 499
その他 (純額)	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 38
現金及び現金同等物の増加額	386
現金及び現金同等物の期首残高	5,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,886

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) (単位:百万円)

	化学品 事業	建材 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	20,100	12,270	702	33,073	-	33,073
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	207	210	(210)	-
計	20,102	12,270	910	33,284	(210)	33,073
営業利益	4,868	753	63	5,684	(1,184)	4,499

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品等の名称  
事業区分は事業目的において区分された項目別とし、その事業規模も勘案して下記の通り分類しております。

- ・化学品事業……無機化成品、有機化成品、ファインケミカルなどの化学工業薬品事業
- ・建材事業……内外装用化粧壁、エクステリア、アルミシャッターなどの建築土木資材事業
- ・その他の事業…情報システム事業などの顧客サービス事業

## 6. その他の情報

該当事項はありません。